

平成28年度
「運動失調症の医療基盤に関する調査研究」班
「運動失調症の分子病態解明・治療法の開発に関する研究」班
合同研究報告会

1日目：平成29年1月19日(木) 9時30分～17時35分

時間	演題番号	研究者氏名	区分	演題名	発表者
9:30	研究代表者 挨拶 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 水澤英洋				
9:35-9:50	ご来賓挨拶 厚生労働省健康局難病対策課、国立保健医療科学院FA事務局、日本医療研究開発機構戦略推進部難病研究課				
I. 疫学・臨床・遺伝子 座長：吉田邦広					
9:50	1-1	金谷泰宏	医療基盤	臨床調査個人票のデータを用いた疫学的研究	金谷泰宏
10:05	1-2	大西浩文	医療基盤	「難病疫学研究班」より「運動失調症政策班」への研究協力について	大西浩文
10:20	1-3	高尾昌樹 (研究協力者)	医療基盤	脳表ヘモジデリン沈着症の実態調査	高尾昌樹
10:35	1-4	石川欽也	医療基盤	脊髄小脳失調症6型(SCA6)のホモ接合体における遺伝子量効果についての研究	曾我一将
10:50	1-5	高嶋 博	医療基盤	小脳失調症の網羅的遺伝子診断	安藤匡宏
II. 診断基準・ガイドライン・患者登録・自然歴 座長：桑原 聡					
11:05	1-6	吉田邦広	医療基盤	特発性小脳失調症(CCAを含む)の診断基準案から見た孤発性失調症の実態	吉田邦広
11:20	1-7	中島健二	医療基盤	SARAおよびSARA下位項目の年間推移—SCA6自然史歴研究データ解析—	安井建一
11:35	1-8	高橋祐二	医療基盤	運動失調症患者登録・自然歴調査J-CAT	高橋祐二
11:50	1-9	水澤英洋	医療基盤	脊髄小脳変性症(SCD)・多系統萎縮症(MSA)診療ガイドラインの作成	水澤英洋
12:05-12:50 昼 食 「運動失調症の医療基盤に関する調査研究班」研究者会議 全国SCD・MSA友の会 ご挨拶					
III. 画像・バイオマーカー 座長：石川欽也					
12:50	1-10	佐々木真理	医療基盤	拡散尖度画像を用いた小脳失調症の早期鑑別診断基準の検討	伊藤賢司
13:05	1-11	武田 篤	医療基盤	多系統萎縮症患者への18F-THK5351 PETの試み	菊池昭夫
13:20	1-12	若林孝一	医療基盤	シヌクレインパチー患者の末梢血単核球におけるオートファジー上流分子の検討	三木康生

IV. 評価法				座長：宮井一郎	
13:35	1-13	吉田邦広	医療基盤	3軸加速度計を用いた失調性歩行の定量的な解析と評価法への応用	松嶋聡
13:50	1-14	佐々木秀直	医療基盤	脊髄小脳変性症における歩行解析(第三報)	白井慎一
14:05	1-15	小野寺理	医療基盤	iPadおよび Kinect sensorを用いた小脳性運動失調の定量評価法の開発～続報	他田正義
14:20	1-16	宇川義一	実用化	小脳の時間保持能力:タッピング課題を用いた時間的統合の評価	徳重真一
V. 治療				座長：武田 篤	
14:35	1-17	宇川義一	医療基盤	脊髄小脳変性症へのTRH療法の効果とプリズム順応課題への影響	清水崇宏
14:50	1-18	宮井一郎	医療基盤	多系統萎縮症に対する短期集中リハの転帰	宮井一郎
15:05	1-19	瀧山嘉久	医療基盤	痙性対麻痺に対するITB療法の臨床評価項目の有用性の検討	一瀬佑太
15:20	1-20	岡澤 均	実用化	運動失調症の分子病態解明に基づく治療開発研究	岡澤 均
15:35-15:55		コーヒーブレイク			
VI. MSAの診断・患者登録				座長：瀧山嘉久	
15:55	1-21	辻 省次	医療基盤	多系統萎縮症に対する治験に向けた取り組み	辻 省次
16:10	1-22	桑原 聡	医療基盤	MSA診断に適切な自律神経機能評価	山中善崇
16:25	1-23	吉良潤一	医療基盤	多系統萎縮症の病態形成における自然免疫の関与とバイオマーカーの探索	山口浩雄
VII. MSAの発症機序				座長：高嶋 博	
16:40	1-24	佐々木秀直	実用化	ゲノム構造多型による多系統萎縮症の発症素因解析	佐々木秀直
16:50	1-25	若林孝一	実用化	新規 α シヌクレイン結合分子AMBRA1は α シヌクレインの分解に関わる	三木康生
17:05	1-26	武田 篤	実用化	細胞外 α シヌクレインはドパミントランスポーター局在・活性に影響する	長谷川隆文
17:20	1-27	貫名信行	実用化	シヌクレインパチーにおける凝集制御因子の探索	貫名信行

17:35 終了

17:45～	SCD・MSAガイドライン委員会 @5F「赤城」
--------	--------------------------

2日目：平成28年1月20日(金) 9時00分～17時00分

時間	演題番号	研究者氏名	区分	演題名	発表者
VIII. 生理学的解析・画像 座長：平井宏和					
9:00	2-1	田中真樹	実用化	アンチサッカードにおける外側小脳の役割	田中真樹
9:15	2-2	筧 慎治	実用化	SARAのデジタル化への試み	筧 慎治
9:30	2-3	祖父江 元	医療基盤	画像を用いた正常健常者における小脳の容積・ネットワーク変化	原 一洋
9:45	2-4	阿部康二	実用化	新しいSCA/ALS crossroad mutation Asidan (SCA36)におけるMIBG心筋シンチおよびDAT scanの検討	山下 徹
IX. 発症機序・動物モデル 座長：池田佳生					
9:55	2-5	平井宏和	実用化	脊髄小脳失調症3型モデルマウスの作成と電気生理学的解析	渡邊 将
10:10	2-6	和田圭司	実用化	QA1はポリグルタミン蛋白質のオリゴマー化を阻害し、ポリグルタミン病モデルマウスの運動障害および神経変性を抑制する	皆川栄子
10:25	2-7	石川欽也	実用化	脊髄小脳失調症31型(SCA31)患者小脳での遺伝子発現解析研究	石川欽也
X. 疾患別発症機序 座長：小野寺 理					
10:40	2-8	松浦 徹	実用化	FXTASのCGGリピート不安定性とDNAミスマッチ修復遺伝子発現	松浦 徹
10:55	2-9	阿部康二	実用化	Treatable ataxiaの探索 ～PEX10遺伝子異常によるARCAの3兄弟例～	山下 徹
11:05	2-10	佐々木秀直	実用化	本邦におけるSCA42の頻度と臨床病型について	佐々木秀直
11:15	2-11	瀧山嘉久	実用化	複合型遺伝性痙性対麻痺2家系の病因遺伝子探索	高 紀信
11:30	2-12	石浦浩之	実用化	歯状核赤核・淡蒼球ルイ体萎縮症蛋白質(DRPLA protein)の転写co-regulatorとしての標的遺伝子の解析	伊達英俊
11:45～12:30 昼 食 「運動失調症の分子病態解明・治療法の開発に関する研究班」研究者会議					
XI. 治療法開発 座長：和田圭司					
12:30	2-13	池田佳生	実用化	非翻訳マイクロサテライト・リピート伸長によるSCAの治療薬探索	塚越設貴
12:45	2-14	小野寺理	実用化	DRPLA (Dentatorubral-Pallidoluysian Atrophy)をモデルとしたCRISPR/Cas9によるゲノム編集を用いたポリグルタミン病治療戦略研究	加藤泰介
13:00	2-15	宮嶋裕明	実用化	無セルロプラスミン血症モデルでの鉄排出機構に関するニューロメタルの関与	宮嶋裕明
13:15	2-16	祖父江元	実用化	ポリグルタミン病に共通するAktシグナル異常	飯田円
13:30	2-17	永井義隆	実用化	分子シャペロンはエクソソーム伝播によりポリグルタミン病モデル動物に対する細胞非自律的な治療効果を発揮する	永井義隆
13:45終了					
14:00～17:00	小脳研究会				